

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌市円山陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 2日間を通して棒高跳ピット周辺を練習場所として開放する。
また、ウォーミングアップ用として時間によってはトラック外側などを開放するが、くれぐれも衝突には注意し、役員の指示には必ず従うこと。開門時間は両日**審判 6:30、その他入場 7:00**とする。
- 3) 朝のトラックを使用する練習は、両日**8:30まで**とする。
ただし、7:30 ごろにゼロ・コントロールテストを行うためゴール地点において周回をとめるため留意すること。
また、7:45 より学生審判補助員集合、8:00 より審判集合を行うため、ホームストレート外側は使用できないため留意すること。
- 4) 競技役員の人数の関係で両日ともに朝のフィールド種目の練習に関してはできないため留意すること。
- 5) 1日目終了後、各大学の荷物は主催者側で預かる。詳細は当日放送にて連絡するが、紛失・盗難などに関して主催者側では一切責任を取らない。

3. 点呼について

- 1) 競技者は**指定された時間までに**競技者係にて1次点呼（○付け、またはシューズ検定）を行い、その後、各競技開始場所に直接集合すること。1次点呼（○付け）終了時刻・現地集合時刻は以下の通りとする。
ただし、**男女 OP 1500m、男子対校 1500m**については**現地集合を 1500m スタート地点でなく、ゴール地点付近において行い**、荷物はゴール地点に置いたままとする。
ゴール地点にて最終点呼を行い、その後スタート地点まで流しを行い、スタートするという流れとなる。

	1次点呼終了時刻	現地集合時間
トラック競技	競技開始 40 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技 (棒高跳・走高跳を除く)	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒高跳・走高跳	競技開始 70 分前	競技開始 60 分前

- 2) 1次点呼（○付け）のホワイトボードは、**競技場内 100m スタート側の用器具庫内**に設ける。
特に 100m が行われている際にはスタートの妨げにならないよう、大声での会話は控えること。
- 3) 男女 3000m より長い種目は、**シューズの厚さ検定と自身のレーンナンバーの書かれたビブスの配布**をもって1次点呼とする。その点呼は**100m スタート側用器具庫にて行う**ため、注意すること。
その他の競技は、**1次点呼場所にて掲示されたスタートリストへの○付けをもって1次点呼とする**。
- 4) 指定された時間までに1次点呼（○付け）を行わない、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- 5) 代理人による点呼は原則として認めない。
ただし、競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人による点呼を認める。その場合はその旨を競技者係にあらかじめ伝えておくこと。

- 6) リレー種目は、オーダー用紙（本部受付に用意）に走順・ナンバー・名前を記入し、1次点呼（O付け）終了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。リレーメンバーの全員での点呼は行わず、オーダー提出後は競技開始の20分前までに各走者ごとに現地にて集合すること。
- 7) 棄権する場合は、1次点呼の締め切り時刻までに競技者係まで申し出ること。

4. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは、北海道大学 101～199、1001～1099、東北大学 201～299、2001～2099、東京大学 301～399、3001～3099、名古屋大学 401～499、4001～4099、京都大学 501～599、5001～5099、大阪大学 601～699、6001～6099、九州大学 701～799、7001～7099、以上のように固定制とし、男子は白地に黒文字で、女子は白地に朱文字で、各大学で大会前に準備する。
- 2) 腰ナンバー標識は、個人トラック種目出場者については右側につける。4×100mR については、第4走者のみ右側につける。4×400mR については第2・第3走者が両側に、第4走者が右側につける。
- 3) 3000m 以上の競技に出場する選手は、1次点呼の際に競技者係にて配布するアスリートビブスを体の前後につける。ただし、OP 女子 5000mW に出場する競技者については、各自のレーンナンバーに 10 を足した数字、OP 女子 5000m に出場する競技者については、各自のレーンナンバーに 30 を足した数字を使用すること。
- 4) 本大会では、対校の部の出場者に関しては貼付式の腰ゼッケンを競技者係にて配布する。一次点呼の際に各自受け取ること。OP の部の参加者は各自で腰ゼッケンを用意すること。写真判定に使用するものであるため各自見やすいように作成すること。

5. シューズについて

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟競技規則 TR 5.2 に基づいたシューズを着用すること。
- 2) WA が作成した認証済みシューズリスト (<https://certcheck.worldathletics.org/FullList>) に基づき、使用の可否を判断する。ただし、リストに不掲載の靴については競技者係で計測の上競技規則を満たしているかの判断を行う。
- 3) 3000m 以上の種目に参加する競技者は全員必ずレースで使用するシューズを1次点呼場所に持参しシューズの厚さ検定を受けること。1次点呼を兼ねているため、検定を受けなかった場合は棄権として処理されるので注意すること。
- 4) スパイクのピンの長さはトラック種目・走幅跳・三段跳・棒高跳は 9mm 以内、走高跳・やり投は 12mm 以内とする。

6. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキング記載の順による。
- 2) 決勝の組み合わせ、およびレーン順は主催者が抽選する。
- 3) 事前棄権者が多数の場合など、予選ラウンドが行われなくなった競技については、選手の最高記録を考慮して決勝ラウンドの番組編成を行う。
- 4) 女子 800m は各レーンに同じ大学の選手が 2 人ずつ入って最初のカーブをセパレートで走る方式で実施する。
- 5) 対校の部の差替（正選手と補欠の入替）及び欠場に関しては、最終決定を 7/25(金)の正午とする。各校担当者は最終決定までに自校の分をまとめ、北海道大学陸上競技部(hokudai.taf@gmail.com)まで送ること。

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具は、原則として主催者側が用意したものを使わなければならない。
ただし、投擲物は1次点呼終了時刻1時間前までに大会本部で各々検査を受けて許可されたものに限り、個人所有のものを使用することができる。この投擲物は、他の競技者も使用できる。
(日本陸上競技連盟規則 TR 32.2)
- 2) 滑り止め(炭酸マグネシウム)は、主催者側で用意する。

8. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) スタート後一定時間を経過して残り1周に達していない場合、または競技に一定に支障が出ると審判長が判断した場合、審判長の指示により競技を中止させることがある。

制限時間は以下のとおりとする。

男子 OP 5000m	20分00秒	女子 OP 5000m	20分00秒
男子 OP 5000mW	30分00秒	女子 OP 5000mW	30分00秒

- 3) オープン種目についてはスタート前の流しを省略し、短距離種目に関してはスタプロ合わせのみとする。

9. フィールド競技について

- 1) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 2) 長さを競う跳躍種目・投擲種目ともに、OPの部は試技回数は3回とする。対校の部については3回の試技ののちに各種目Top8が試技をさらに3回行う。
- 3) OP男子走幅跳に関しては2ピットで行う。番組編成で1組とされているものがAピット、2組とされているものがBピットとする。
- 4) 跳躍競技でのバーの上げ方は下記のとおりとするが、状況により変更することもあり得る。
対校の部に関しては前々日の代表者会議にて決定する。

種目	練習	試技
男子 OP 棒高跳	2m50,3m50	2m60から20cm、3m60から10cm
男子 対校 棒高跳	2m00,3m00,4m00	2mから20cm、3m60から10cm
男子 対校 走高跳	1m50から10cm	1m50から5cm、1m95から3cm
女子 対校 走高跳	1m10から10cm	1m10から5cm、1m45から3cm

- 5) 三段跳の踏切板は、男子は砂場から11mと13mの位置に設置する。なお、この条件については状況により変更する場合もある。
- 6) 投擲種目は基本光波計測機による測定を行うが、場合によってはメジャーでの計測になることがある。
- 7) 円滑な競技進行のため、試技を行う際には制限時間を遵守すること。(TR25.17)
- 8) フィールド競技の競技場所に近接したスタンドにコーチングエリアを設ける。当該種目に出場している競技者とのコミュニケーションはコーチングエリアから行うこと。詳細な位置は別紙を参考とすること。

10. 助力について

- 1) 競技者への助力については、日本陸上競技連盟規則TR6に則り規制される。これに抵触する場合は、審判長から注意・警告を行う。
- 2) 是正されない場合は、種目から除外される場合もある。

11. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表（アナウンス）されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから 15 分以内）に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
(日本陸上競技連盟競技規則 TR 8)
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金 10,000 円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

12. 撮影について

- 1) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
- 2) 参加者によるスマートフォン以外での撮影に関しては、
 - ①所属団体がわかる服装をしているもの
 - ②団体受付にてまとめて団体代表者に渡す「撮影許可証」を首から下げているもののどちらかの場合のみ許可する。学生の保護者や関係者などに関しては、関係団体より撮影許可証を借りること。
(スマートフォンでの撮影には許可は不要とする。)

13. 表彰について

- 1) 男女総合優勝校には、優勝杯と賞状を、2 位、3 位には賞状を授与する。
- 2) 男女トラック優勝校には、賞状を授与する。
- 3) 男女フィールド優勝校には、賞状を授与する。
- 4) 対校の部の各種目の優勝者、2 位、3 位には賞状を授与する。
- 5) 各種目の表彰式は各競技終了後に順次執り行う。対象者は競技終了後に大会本部表彰スペースに集合すること。
- 6) 最優秀選手として男女各 1 名ずつ各校の監督の協議により選出し、賞状を授与する。

14. 応援について

集団での声出し応援を可能とする。ただし、以下の事項を遵守すること。

- 1) 集団での応援については、周囲の方に配慮し、迷惑とならないように配慮すること。
- 2) トラック種目のスタート前はいかなる状況でも声出しをやめること。
- 3) 役員への指示にはいかなる場合でも必ず従うこと。
- 4) 走幅跳・三段跳の応援を除きメインスタンドでの集団応援は禁止とする。各校割り当てた陣地で行うこと。

15. その他

- 1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。役員・補助員による運搬は行わない。
- 2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 3) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2025 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- 4) 大会の記録・映像・写真・記事などは、参加校及び参加校が承認した第三者が、大会運営及び広報等の目的で、大会プログラム等の配布資料、インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 5) 横断幕の設置やのぼりの設置に関して、特に制約は設けないが常識の範囲内で周囲に迷惑のかからぬよう掲出すること。
- 6) 大会期間中に出たゴミは、各学校で透明な 45L ゴミ袋を用意の上、確実に分別したもののみ大会側で引き取る。
燃えるゴミ・生ゴミ・ペットボトル、ビン、缶（一緒でよい）の 3 つに分別すること。分別が不十分な場合は受け取らないことがある。
- 7) 不審者・不審物等を発見したら、大会本部まで連絡すること。
- 8) その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。

2025 七大戦 陸上競技 会場の使用および撮影について

1. ウォーミングアップ場と選手待機場について

第2曲走路外側(※1)にて一方通行で行います。係員の指示に従ってアップを行ってください。また、競技場の周りを使用する際は、隣接する野球場の利用者の邪魔にならないようにしてください。

2. 観戦・応援エリア

- ・ 集団応援はトラック外側の芝生に設置する各大学の陣地で実施してください。
- ・ ご来場の方は観客用席で観戦してください。
- ・ 正面スタンド中央前列とゴール付近スタンド席それぞれにライブ配信の撮影機材を設置するため利用できません。

3. コーチングエリア・マネージャーエリア

以下をコーチングエリアとします。

【投擲】250m 地点外側(※2)

【走高跳・棒高跳】50m 地点外側(※3)

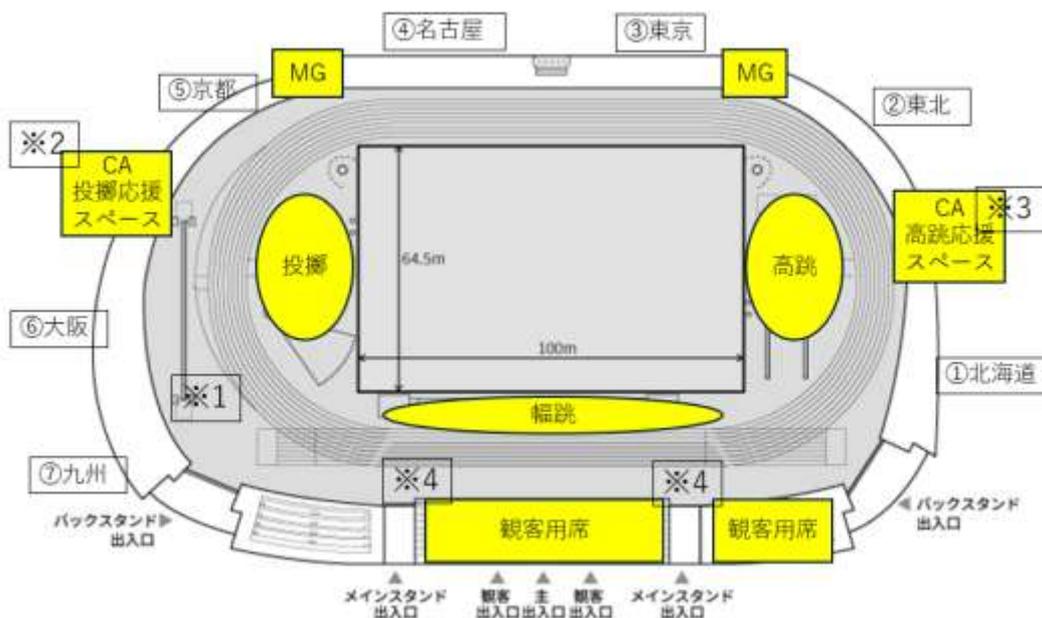
【走幅跳・三段跳】砂場付近の外側(※4)

当日の風向きによって決定します。

また、以下をマネージャーエリアとします。

- ・ 1500m スタート地点
- ・ 5000m スタート地点

会場全体図



4. トレーナーベット設置場所

以下の場所を使用してください。

- ・正面スタンドの最上段と上段2列

メインスタンド拡大図



5. 撮影について

正面スタンドおよび各大学応援エリアからの撮影

- ・スマートフォンによる撮影は許可不要です。
- ・カメラ・ビデオカメラによる撮影は以下とします。
 - ・参加校部員およびOB・OG、その他関係者
各大学に配布する撮影許可証を身に着けたうえで撮影してください。OB・OG、その他七大学関係者で撮影を希望される方は、七大学より撮影許可証を借りて身につけたうえで撮影してください。
- ・上記以外：許可を得て撮影ください。